



古中だより「坂道」

<めざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和4年度 第16号

10月14日 発行

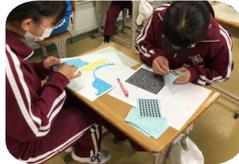
古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～ 玲瓏祭に向けて着々と！ ～

玲瓏祭まで約1週間となりました。実行委員会を中心に、各係、学年等で生徒たちは皆で協力しながら一生懸命準備に取り組んでいます。

そのような中で、**全校生徒126人の力で作り上げるのが「ビッグアート」**です。今年も昨年同様、生徒一人一人がA4版用紙にわずか直径8mmの様々な色の円形シールを貼り、それを約250枚つなぎ合わせて、縦が約3m、横が約5mの「ビッグアート」に仕上げる予定です。時間と根気のいる作業ですが、生徒は6日(木)の総合的な学習の時間を使って、最終的にどんな「ビッグアート」になるのかを想像しながら、友だちと協力して黙々と作業に取り組みました。

今後はビッグアート担当の実行委員が一枚一枚をつなぎ合わせ、玲瓏祭当日の発表に向けて準備を進めます。担当の実行委員以外、完成図を知る生徒はいません。そんなこともあって、昨年の披露では会場から大きなよめきや歓声が湧き上がったことを覚えています。今年も、**どんな素晴らしい「ビッグアート」が披露されるのか、今からとても楽しみです。**



黙々と取り組む生徒たち



昨年のビッグアート

～ お味はいかがでしたか？ ～

12日(水)に毎年恒例の**3年生のバイキング給食**が行われました。本来であれば、友だちと楽しく会話をしながら料理選びや会食をしてほしかったのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数を区切って料理をとったり食事の会話を控えたりするなど、制約を設けて実施させていただきました。

それでも、普段の給食には出ることがないような**数多くの料理の前に、3年生は自然と表情が緩んでいました。**きっと、美味しくいただけただことでしょう。

また、当日は鮫川村給食センターの職員の皆さんが準備や指導に当たってくださいました。日頃から生徒のために**一生懸命給食をつくってくださっている職員の方々へ感謝の気持ちを忘れず、これかもしっかりと給食を食べて、健全な身体づくりをしてほしい**と思います。



～ 県南新人大会を勝ち抜き、県大会へ！ ～

各部活動では県南新人大会がたけなわですが、県大会出場を決めた部を紹介します。よく頑張りました！県大会でも活躍を祈ります。

- **ソフトボール部** (玉川中との合同チーム)
県南大会 **優勝**
県大会 10月29日・30日 於：須賀川市民スポーツ広場
- **剣道部(女子)**
県南大会 **第3位**
県大会 11月5日 於：あづま総合体育館

～ いざという時のために その1 ～

本日、今年度2回目の避難訓練を実施しました。5月の1回目の訓練では、避難経路の確認など基本的な内容でしたが、2回目はより実践的な訓練としました。

今回は火災を想定した避難訓練でした。より実践的にするために、生徒が自分の教室にいて学級担任が避難経路通りに誘導するという1回目の訓練の想定を変えました。今回は通常の授業中を想定しましたので、生徒は自分の教室だけではなく、特別教室にもいます。そこから、**各教科担任が出火場所を考えながらより安全に避難を誘導**するという形をとりました。

火災によって亡くなった方の死因のほとんどが「**やけど**」、「**一酸化炭素中毒・窒息**」となっていますが、実際には「**一酸化炭素中毒・窒息**」となっていて動けなくなり「**やけど**」で亡くなるとのことで、火災による死因は、**ほとんどが煙による中毒死**とのことです。そこで、今回は古殿分署の皆様のご指導のもと、第1集会室で「**煙体験**」を行い、**適切な避難の仕方を理解したり煙の恐ろしさを体験したりする機会**としました。

いつ発生するかのか分からないのが災害です。**パニックにならずに、正しい知識のもと、冷静に行動することが自他の命を守るためには大切**だということを実感できた訓練となったことと思います。



～ いざという時のために その2 ～

避難訓練終了後には、**2年生を対象として心肺蘇生法の講習**を実施しました。全体で、心肺蘇生法のDVDを視聴した後に、グループに分かれて**AEDを使用した実技講習**を行いました。

AEDは人が多く集まる施設や会社、スポーツの競技場などには概ね設置されており、もちろん古殿中学校にも設置してあります。**(設置場所は職員玄関)**ですので、生徒の皆さんも覚えておきましょう。

心臓が停止した場合、停止してから**3～5分で脳機能が損失**、何もしなければ**10分ちょっとで生存率は0%**になると言われています。したがって、**救急車を呼んで待っているだけではなく、AEDを使ったいち早い救命活動が重要**とされています。

災害と同じく、いつどのような時にそういった場面に遭遇するかは分かりません。その時に、AEDを用いた心肺蘇生を行えば、一つの大切な命を救うことができるかも知れないのです。実際には、一人ではなく何人かの協力者が必要となりますが、**一人一人が正しい知識を持ち勇気をもって行動**することで救命が可能

になります。貴重な体験をした2年生の皆さん、どうか今日の講習のことを忘れずに、これからも救命活動に関心を持ち続けてください。